

## 三隅公民館（まちづくり・休日子ども活動支援）

<p>【活動名】 【活動の主体・エリア】</p>	<h3>第4回防災フェスタ</h3> <p>～三隅地区まちづくり推進協議会・三隅地区～</p>	
<p>【めあて・目標】</p>	<p>【子ども】 参加した子どもたちが、地域の人への感謝やふるさとへの愛着を醸成するとともに、自分の命は自分で守るという意識を高める。</p> <p>【地域ボランティア】 地域ぐるみで子どもを育み、共に高まりあう意識の醸成。主体的に社会参画、貢献しようとする意識の醸成。</p>	
<p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>	<p>郷土愛（地域にとけこみ、大人と活動を共にする） 向上心（自分で考える。自分で決める）</p>	
<p>日時：令和2年8月7日（金） 9：30～14：00 場所：三隅公民館 人数：子ども35名 大人スタッフ25名</p> <p>平成29年7月の豪雨の際に子ども達が避難所でとった行動や近年各地で起こる災害を鑑みて、子ども達の防災意識を上げること、そして子ども達の持つ力を地域へ還元させることを目的に行っている。今年で4年目になる。</p> <p>まちづくり協議会環境育成部を中心に地域ボランティアが集まった。当日の朝に再度スタッフ会議を行って役割を確認した。例年とは違い、コロナウィルス感染症対策を取り入れた内容となった。密を避ける工夫としてグループごとに各部屋に分かれて集まり、移動の際も放送で合図を送りながら一斉に動くことで感染リスクを少なくした。体験内容はハイゼックスを使用した炊き出し訓練、煙体験、起震車体験、防災士のお話の4つ。煙体験や起震車体験を怖がる子どももいたが「大丈夫？頑張ってみようよ」と促す声や「頑張ったね」と褒める声を大人スタッフからかけられていた。今年は最初から最後まで少人数グループで仕切って行ったことで、大人と子どもとの距離が近かったように感じた。子どもができないところを「〇〇さんここ手伝って」と自分の口から言える関係作りができていた。</p> <p>2年任期のまちづくり協議会の活動として行うことで、役員が変わる度に子どもと関わる地域の大人が増えていく。今後も地域の一役となる子ども達を地域の大人が育てていく活動を続けていきたい。</p>		
 <p>スタッフ会議</p>		
 <p>グループごとで活動</p>		
 <p>炊き出し訓練の様子</p>		
<p>講師ボランティア 関わった団体・ 組織・機関等</p>	<p>三隅地区まちづくり推進協議会 防災士 浜田市福祉推進協議会三隅支所 浜田市消防本部西部消防署三隅出張所 三隅小児童クラブ</p>	
<p>振り返り （良かったこと、 反省点 など）</p>	<p>コロナウィルスが拡散しないように今年では行事の中止が多かった。この事業をきっかけに感染症対策を取り入れながら行事を行うことにシフトチェンジできた。</p> <p>地域ボランティアから「久しぶりに子どもの声が聞けた」「元気がでた」と明るい声を聞くことができた。積極的に呼びかけることはできないが、不安を軽減させる工夫を行いながら今後も大人と子どもを会わせる機会をつくりたい。</p> <p>まちづくりスタッフの中に保護者の顔があった。地域の人達や近所の子どもに関心をもつきっかけとして子ども対象の地域行事に参加するよう呼びかけていきたい。また、若い世代を取り込む機会にもしたい。</p>	